

後楽園キャンパス再整備計画

新2号館を建設

現在、後楽園キャンパスは理工学部をはじめ、ビジネススクール、中央大学高等学校を併設する総合キャンパスとして、その存在感を確立しています。

この後楽園キャンパスは地下鉄4路線とJRの5路線からアクセスできる都心ならではの環境に恵まれており、教育研究活動の拠点として、更なる発展を期待されるキャンパスです。

キャンパス内には2003年に建替竣工した新3号館をはじめ、1～8号館の各建物が設置されており、これら施設を利用して様々な先端技術研究が行われています。この度、さらなる教育環境の充実や、今後ますます高度化する教育研究活動を展開していくために新2号館の建設を決定しました。

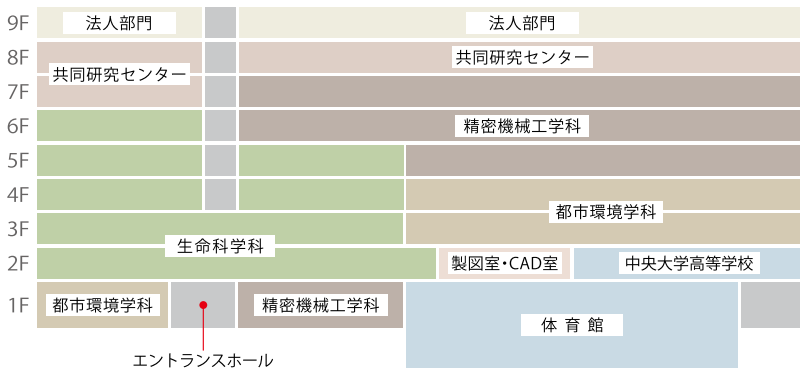
新2号館は既存2・7号館およびテニスコートを解体し、地上9階、地下1階、延べ床面積約17,000㎡の建物として建設します。新2号館では、既存の精密機械工学科、都市環境学科をはじめとして、2008年度に新設した生命科学科、共同研究センターが教育研究を展開し、併せて中央大学高等学校の専用教室・アリーナを設置します。

新2号館は将来にわたって常に高いパフォーマンスと利用効率を発揮するために、様々な技術的工夫や省エネルギーへの配慮がなされています。より高い耐震性と同時に、可能な限り柱を減らすことで研究内容の変化に応じて容易に間仕切りが変更できるフレキシビリティを確保し、外観デザインもテラコッタルーバーという特殊素材を用いて、建物のグレード感と近隣への配慮を両立しています。

新2号館は来年2011年4月の一部供用開始（生命科学科）、そして同年7月の全面竣工をめざして急ピッチで工事を進めます。

工事中、後楽園キャンパスを利用される皆さまや近隣の方々にはご不便をおかけしますが、都心における次世代の教育・研究拠点の建設にご理解をお願いいたします。

新2号館 各階見取り図



写真左、中央部に見えるテニスコートを中心とした位置に新2号館を建設。写真右は建設予想図。